

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
仕上				
1	共通	図面で×、/及び＝で消され、数量書に記載が無いものは、今回の見積範囲に含まれないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
2	D-84 D-103 D-107 D-165 D-178	シールド工事において建具は図面で×で消され数量書にも記載がありませんが、壁は図面及び数量書に記載があります。今回の見積範囲は壁のみで建具は見積範囲に含まれないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
3	D-172	建具表でAAW-1、2、2A、1B、2B、1C、2C、3 室内側サッシが斜線で消されていますが、数量書には記載があります。今回室内側サッシは図面を正として見積範囲に含まれないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
4	D-173	図面ではAD-5が1か所ありますが、数量書には記載がありません。図面を正として考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		金属工事 屋外階段 目隠しルーバー及び1階目隠し両開き扉に含みます。 変更修正した参考数量書を参照ください。
5	D-2 D-173 D-174 D-175 D-177 D-179 D-180 D-181	建具表の備考欄にICカードリーダーの記載があるものがありますが、数量書には記載がありません。工事区分表で操作盤から接続ボックスまで電気工事となっているので、ICカードリーダーは電気工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
6	D-177	図面ではSSD-9は6か所となっていますが、数量書ではSSD-9は7か所となっています。図面を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		数量表が正です。 D-164図1階建具案内図に(1箇所)あります。 ※変更指示書による。
7	D-177	数量書には建具のSSD-1、2、3、4、4A、5、5A、8、9、10、11、12、14、16、23、24にドアエンジン別途と記載されていますが、エンジン装置の数量書には記載がありません。図面を正としてエンジン装置はあると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、電気錠が＝で消されているのもドアエンジンにバッテリー内臓・G回路を含むと考えて宜しいでしょうか。合わせて御指示ください。		自動ドアエンジン(バッテリー内蔵含む)別途工事とします。 G回路は、電気設備工事とします。 ※変更指示書による。
8	D-178	FSD-2、3、5、6 図面に記載はありますが数量書には記載がありません。図面を正として考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		種目Ⅳ病棟Ⅰ改修にあります。
9	D-179	図面ではSP-21は5か所、SP-21Aは2か所となっていますが、数量書ではSP-21は2か所、SP-21Aは5か所となっています。図面を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
10	D-216 D-217 D-223	家具案内図で吊戸棚(FA-8)が5階には無く数量書にも3か所とありますが、家具詳細図では5階に1か所と記載されて合計4か所となっています。3か所を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		5階案内図K12-13間にFA-8記載があります。 4か所が正です。 ※変更指示書による。
11	D-218 D-224	図面には7FVIP室収納棚(FA-17)が1か所ありますが、数量書にはありません。あると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。 ※変更指示書による。
12	D-219 D-225	家具詳細図に共通仕様として、製作は日本家具保証協会認定工場とすること、と記載されていますが、これは認定が取れている工場で作った物でなければ、納入することはできないということでしょうか。御指示下さい。		左記の「製作は日本家具保証協会認定工場とすること」の記載は、削除します。 ※変更指示書による。

山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
13	D-234～ D-235A	図面には免震EXP.Jの記載がありますが、数量書には記載がありません。免震EXP.Jは今回の見積範囲に含まれないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。 D-14図を合わせて参照ください。
14	D-26～ D-33 D-258～ D-275	平面図にはELV1～4の記載がありますが、エレベーター詳細図では×で消され、数量書にも記載がありません。ELV1～4は今回の見積範囲に含まれないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
15	別図 数量書	モデルルームですが、数量書にある4K×10Kの3か月で、仕上は4床室、廊下、1床室の内装部分の仕上のみ(外部サッシは含む)で外装の仕上はしないと考えると宜しいでしょうか。又、設備機器は別途と考えると宜しいでしょうか。合わせて御指示下さい。		外装の仕上は無いです。 建築工事特記仕様書(5)その他に記載の「モデルルーム内に設置するものは別途工事(家具及びベッド等)を含む。」は各種設備機器の設置取付も見込みます。各種設備機器については、各設備工事請負業者より支給を想定しています。また、医療機器については別途支給となります。
躯体				
16	S-1	鉄筋工事に関して、D13にスパイラル又は溶接閉鎖形鉄筋とありますが適応なしと考えて宜しいでしょうか。適応する場合、範囲を御指示下さい。		適応箇所はありません。
17	S-45	フラットデッキS35.S40に関してデッキの厚みが不明です。t1.6と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。		在来型枠とします。
18	S-16.45	2FのS35Aのスラブリストが見当たりません。S35と同一リストと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。 【添付図面1参照】
19	S-16～21	スラブ増打に関して配筋が見当たりません。主配筋D13@200シングルと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。		打ち増し部に、XY両方向D10-200@シングル、端部筋のみD13とします。
20	S-45	デッキに関して、柱周デッキ補強を柱周りに2-D13、L=柱幅+片側750mm(四周)を考慮してよろしいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
21	D-80～ 82.191	1F設備基礎のヶ所数に関して、設備基礎リストでは3400×1600×150、3300×2100×150がありますが、平面詳細図にはなく相違しています。設備基礎リストを正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。		仕上表及び設備基礎リストを正とします。 ・3400×1600×150:1階洗濯室の洗濯機置場の基礎 ・3300×2100×150:1階洗濯室の乾燥機置場の基礎
22	D-83～ 85.191	2F設備基礎のヶ所数に関して、設備基礎リストでは2080×960×150がありますが、平面詳細図にはなく相違しています。設備基礎リストを正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。		平面詳細図(設備室2)に記載があります。
23	D- 96.97.191. S-24	PHF設備基礎のヶ所数に関して、伏図では98ヶ所、平面詳細図では103ヶ所、設備基礎リストでは91ヶ所と相違しています。平面詳細図を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。 【添付図面10参照】
24	S-56～57	デッキスラブDS1に関して、該当範囲が見当たらないため、使用しないと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。		S-56の特記事項によります。
25	S-43	柱「SP1」の柱脚において、詳細不明なものは下記のように仮定いたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。 BPL厚:PL28 BPL規格:SN490C アンカーボルト規格:ABR490		以下の通りとします。 B.PL:PL-28(SN490C) アンカーボルト:ABR490 【添付図面8参照】

山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
26	S-11	継手リストにおいて、該当しないサイズはSCSS又近似サイズ(BH材の場合)で計上いたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
27	S-11,46	小梁のピン接合は【A1タイプ】と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
28	S-31,16~30	柱芯が各図面で相違がございます。 下記のようにいたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。 鉄骨心図: X13/Y1(Y2)通り: C1(C2)……誤 伏図・軸組図: X13-530=柱芯……正 鉄骨心図: X13/Y4+165通り: C2……正 伏図: Y4+165……正 軸組図: Y4+400……誤 鉄骨心図: Y1B+470通り上: C4(全部)……正 PH伏図: Y1B+470……正 PHR伏図: Y1B-470……誤 軸組図: Y2-5530(=Y1B+470)……正		宜しいです。 【添付図面3、6、7参照】
29	S-18	4F伏図 X12^13/Y1に「SB9」の配置がございますが、リストに記載がございません。「SB10」と同断面と仮定いたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。 【添付図面2参照】
30	S-18	4F伏図 X6^8/Y1Aに、スラブレベル「-115」の記載がございますが、X7、X8通りの大梁「SG5」に伏図、軸組図ともに梁天端レベル下がりの記載がございません。梁天端レベル下がりはないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。 【添付図面2参照】
31	S-31,16~30	柱符号が図面により相違があります。 下記のようにいたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。 X5/Y1:鉄骨心図: C1……誤 伏図・軸組図: C3……正 X7/Y1:鉄骨心図: C3……誤 伏図・軸組図: C2……正		宜しいです。 【添付図面7参照】
32	S-16~30	下記は伏図に記載がありません。伏図を正とし未計上といたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。 Y3通り軸組図/PHRF/X6:CG9 Y3通り軸組図/3F^PHRF/X6:CG9 X13通り軸組図/PHRF/Y1:CG9A X13通り軸組図/PHRF/Y2:CG9		全て伏図を正とします。 【添付図面5参照】
33	S-16~30	下記は伏図と軸組図に相違があります。下記のようにいたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。 4F/X13/Y1(X方向) 伏図: SG9……誤 軸組図: 無……正		宜しいです。 【添付図面2参照】
34	S-44	大梁リストにおいて、H型鋼で記載の部材で既製品サイズでないものはBH材に読み替えますが宜しいでしょうか。御指示下さい。 PHR/SG3: H650x350x16x32 PHR/SG4: H650x350x12x25 PHR/SG5: H650x350x16x32 3F・4F/SG8: H750x400x19x32		宜しいです。 (左記の質疑で3F・4F/SG8: H750x400x19x32記載は、2F・3F/SG8: H750x400x19x32の誤記と思われる) 【添付図面9参照】

山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質疑事項	No	回答
35	S-46	鉄骨部材リストにおいて、BH型鋼で記載の部材でSH型鋼に該当がある場合でも、記載の通りBH型鋼で計上いたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。 SB5: BH650x300x12x25 CG9: BH450x200x9x12		外法H形鋼としてください。
36	S-46	横補剛材の詳細図が図示されておりますが、適用条件や伏図に記載がありませんので未計上いたします。宜しいでしょうか。御指示下さい。		SB1の端部に適用しています。
37	S-26~30	軸組図Y2通りの柱ジョイントが、X軸通りの柱ジョイント位置と相違しております。X軸通りの3F、5F、7Fを正といたしますが宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。 【添付図面4参照】
38	S-11	継手部ボルトについて、S10Tと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		特記以外、超高力ボルト(SHTB同等品)としてください。
39	D271~273,数量書 I-7-5 (P15~16)	EV下地鉄骨数量について、数量書に記載数量はEV1~EV4は含まれず、すべてEV5の数量と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		記載数量は、EV1~4を含む、すべてのEV下地鉄骨の数量としてください。 (EVの下地鉄骨は全て本工事範囲)
改修・撤去				
40	数量書 P 106	IV病棟 I 改修 2.防水改修 2 1撤去の屋上断熱シート防水撤去(3.9m ²)はどの部分の数量でしょうか。御指示下さい。		(既存)渡り廊下屋根(立上り含む)と今回工事の接続部のことです。
41	—	2.屋上改修 2 2改修の合成高分子系ル-フing防水(1.9m ²)はどの部分を指すのでしょうか。御指示下さい。		設計図の通り、SUSシーム防水が正です。 変更修正した参考数量書を参照ください。
42	—	渡り廊下部屋根防水がD-230・233図ではSUS防水シム工法、木片セメント板A18+鋼製床組下地とありますがその数量はどこに明記されているのでしょうか。御指示下さい。		D-230図の渡り廊下屋根部によります。 変更修正した参考数量書を参照ください。
43	DK-5	断面図の最上部に平場(撤去 防水・下地共)とありますが下地は何でしょうか。御指示下さい。		耐火デッキプレートになります。
44	数量書 P 106	塗膜防水(23.0m ²)の犬走りとは1階部分のY4A・Y4B通り、X1通りのY3~Y4と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		既存病棟 I 西側の犬走部です。 ※(既存病棟 I)通り符号X1左、Y1—Y3間。
45	数量書 P 107	笠木取付の8.1mの撤去はないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
46	数量書 P 107	犬走り先端水切とはどの部分でしょうか。御指示下さい。		D-230図記載の犬走先端金物です。
47	数量書 P 107	金属成形板張り(8.7m)とはどの部分でしょうか。御指示下さい。		左記の金属成形板張り部は、EOPに変更します。 ※既存Y4A通りのSUSシーム防水立上げ下地。 変更修正した参考数量書を参照ください。

山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
48	数量書 P 107	笠木取付(6.0m)W600とはどの部分でしょうか。御指示下さい。		D-230図、Y4A通り斜線部の笠木です。 ただしW600をW475に変更します。 変更修正した参考数量書を参照ください。
49	数量書 P 107	スチール製手摺撤去(12.8m)とはDK-5図の1階部分のF.B手摺(メッキ)の事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
50	数量書 P 107	3外壁改修、3 1撤去の外壁押出成形セメント板取外し引渡しとは場内に集積までと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。場所については監督職員の指示とします。
51	—	同上引渡しの外壁は新設部分で転用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		転用しません。
52	数量書 P 108 P109	4建具改修、4 1撤去の建具取外し引渡しは場内に集積までと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
53	—	同上のアルミ製建具のガラスは撤去・処分と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		アルミ製建具(ガラス含む)は、そのまま一緒に取外して場内に集積してください。
54	数量書 P 110	5内装改修、5 1撤去の手摺A撤去(105m)とはDK-4図の2～7階平面図に明記されている内部の手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		D-188図共通詳細図(5)の15、16図によります。
55	数量書 P 111 DK- 1	廊下ビニル床シートの張替部分の下地補修は数量に含めないのでしょうか。御指示下さい。		下地補修としてください。
56	数量書 P 112	同上、5 2改修の手摺BがDK-2図の2階平面図及び3～7階平面図で新設防火戸の戸袋部分にも明記されておりますが、戸袋部分は取り付けないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		新設防火戸の手摺設置範囲は、補強プレートSt.2.3(H=200)を見込んでください。
57	数量書 P 112	車摺(153m)はどの図面に明記されているのでしょうか。御指示下さい。		平面図(STT-4)記載部です。 STT-4はD-188図の共通詳細図(5)4図によります。
58	DK-6～ DK-8	V中央機械室改修 A通り外部に明記されている仮設階段及び取合いは別途と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		本工事とし、仕様はDK-19図に準じます。
59	数量書 P 117	V中央機械室改修 2 2改修(外部階段)が明記されています。DK-18図、DK-19図では×となっておりますが、図面を正と考え、今回の見積範囲に含まれないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		別途工事としてください。
60	数量書 P 116・117 DK-18	軽量鉄骨壁下地(5.5m2、他ボ・ド・塗装)はどの部分でしょうか。また、壁表記のW33の仕様について、御指示下さい。		D-186図 共通詳細図(3)の壁符号としてください。
61	数量書 P 118	V中央機械室改修 3建具改修、3 1撤去にDK-7図に明記されているSD-5の撤去がございません。図面を正と考え、今回の見積範囲に含むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。

山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
62	DK-7	同上部の床、壁、天井の仕上撤去・改修が数量表にございません。図面を正と考え、今回の見積範囲に含むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
63	数量書 119	4.内装改修、4 2改修の床フリアクセスフロア取外し再取付の仕上はどの様にしたら宜しいでしょうか。御指示下さい。		現状復旧としてください。
64	DK-19A	同上内部改修の際、仮間仕切等は不要と考えて宜しいでしょうか。また、再取付で外したものは(フリアクセスフロア)その場に集積と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		仮設間仕切りは必要です。【添付図面11参照】 二重床は取外し、再取り付けのため、処分は有りません。
65	—	同上部作業の際はその部屋での通常業務はないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。同フロア内では業務を行います、改修場所では業務は行いません。
66	DK-21	Ⅵ東病棟C階段とリコわし等 衛生器具、配管等の撤去・切り直し等は別途と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
67	DK-21	同上部切断ラインですと手摺壁や階段が一部残ってしまうと思われませんが、宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
68	DK-25	新設間仕切壁の壁表記W40、W20の仕様について御指示下さい。		D-186図 共通詳細図(3)の壁符号にして下さい。
69	—	同上工事の際は、備品什器類はなく、厨房での通常作業も行っていないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
70	数量書 127	天井下地及び天井ケイカル板撤去(15.5m ²)は撤去する階段部分の天井と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		左記部分と便所部分の天井です。
71	数量書 128	耐火遮音壁(14.8m ²)は階段撤去後の開口塞ぎの内部側と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
72	数量書 126 DK-21	建具撤去部分に明記がございませんが同上部の建具はそのまま残した状態で塞ぐと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
73	数量書 128	車摺(84.6m)がわかる図面をご提示下さい。		DK-25図のSTG-2記載部分です。
74	数量書 129	5内装改修 5 1撤去の中にDK-25図の廊下通りSP-53が取付く部分の壁撤去は含まれていると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
75	DK-25	同上部のN通り4～5へ向かう新設壁が開口部にぶつかっております。どのように考えれば宜しいでしょうか。御指示下さい。		軽量鉄骨間仕切壁をそのまま当て、シーリング処理を見込んでいます。

山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事

質疑に対する回答について

No	図面番号	質 疑 事 項	No	回 答
76	DK-26	屋上ハラペット部分の躯体撤去は7-1躯体撤去の中に含まれていると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
77	数量書 P 131	Ⅵ-9.解剖水槽及び上屋とりこわし時には水槽内に何も無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
78	DK-30 (D-7)	Ⅶ既存共同溝とりこわし等の解体共同溝Aの上部はAs舗装が打設されていると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
79	—	とりこわし共同溝内部には配管等はないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。		宜しいです。
80	D-24	東病棟階段解体において、東病棟の基礎・ピット部分も解体範囲に含まれますが、図DK-21他等に具体的記載がなく、東側病棟の構造仕様・仮壁設置の要否等、解体の詳細が不明です。御指示下さい。		DK-21～24図によります。
81	DK-29 D-24	既存共同溝A及び共同溝Bの間に挟まれた領域の解体範囲が2つの図面で異なります。DK-29を正として宜しいでしょうか。御指示下さい。		D-24図を正とします。 【添付図面12参照】
82	DK-6～ DK-8	中央機械室の南側の仮設屋外階段が平面図と数量表のみで詳細が不明です。詳細を御指示下さい。又、仮設屋外階段はそのまま残すと考えて宜しいでしょうか。合わせて御指示下さい。		仕様はDK-19図に準じます。 仮設階段は工事期間内に撤去とします。
83		解体・改修範囲のアスベストは内外装すべてにおいて無いものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。		T-6図建築工事特記仕様書(6)環境配慮改修工事に記載の範囲にはあります。
84		病院関係の行事等で、工程上考慮すべき事項がございましたら御指示下さい。		入試日と学園祭の開催日は休工としてください。

以上

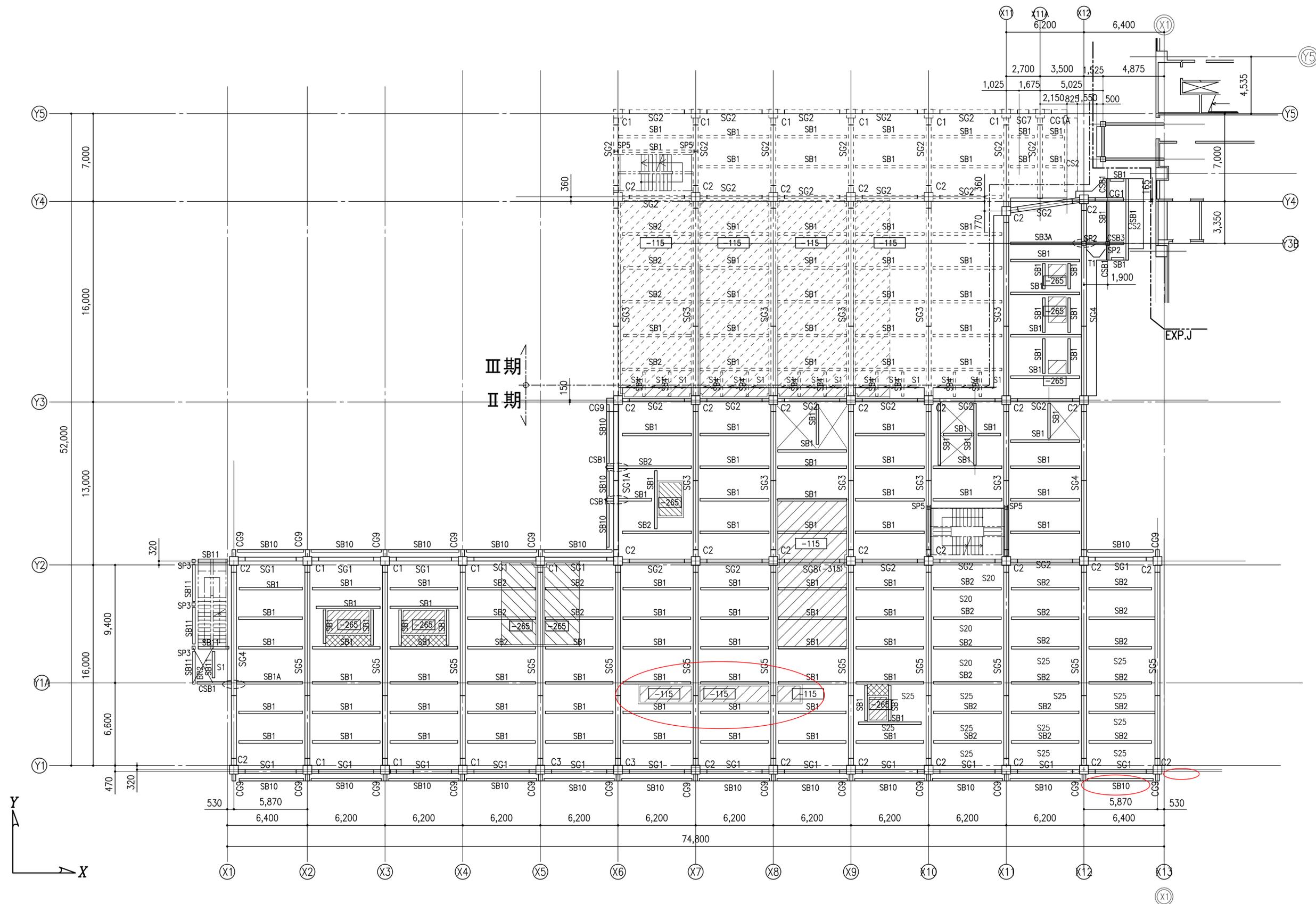
平成30年6月15日

山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事

入札説明書に対する質問の回答について

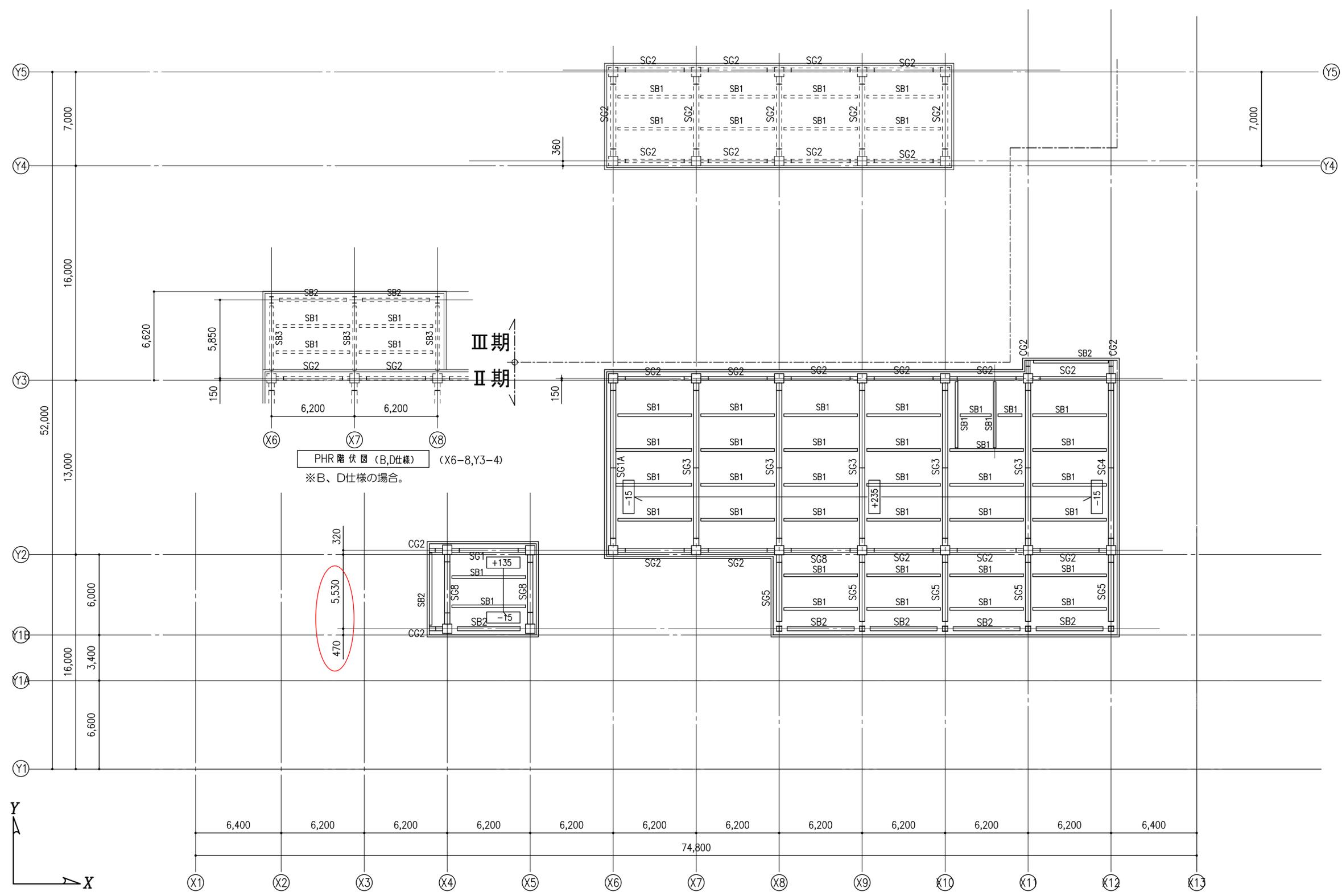
No	図面番号	質疑事項	No	回答
1	入札公告及び説明書	工期について、ご協議頂けるものと考えて宜しいでしょうか。		入札公告に記載されている工期は予算上の工期である。

以上



4階伏図 1:150

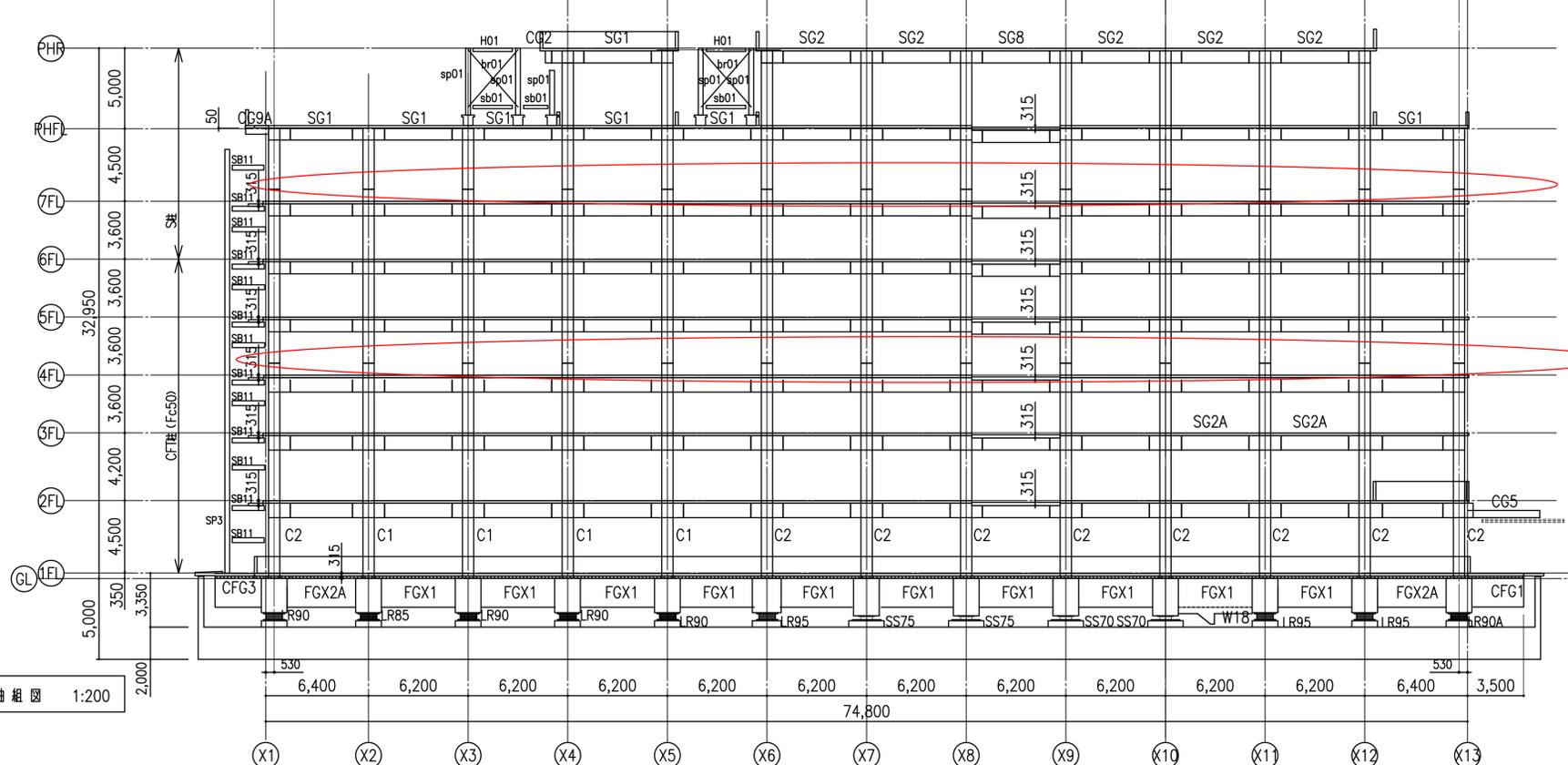
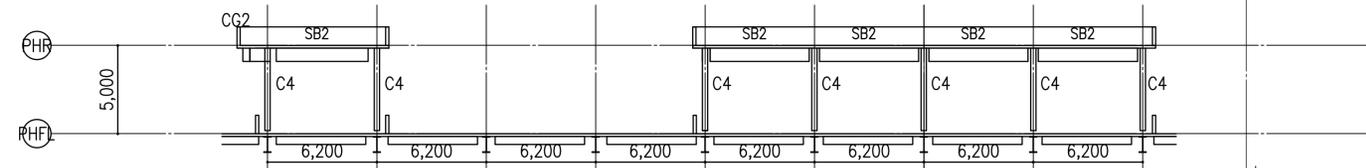
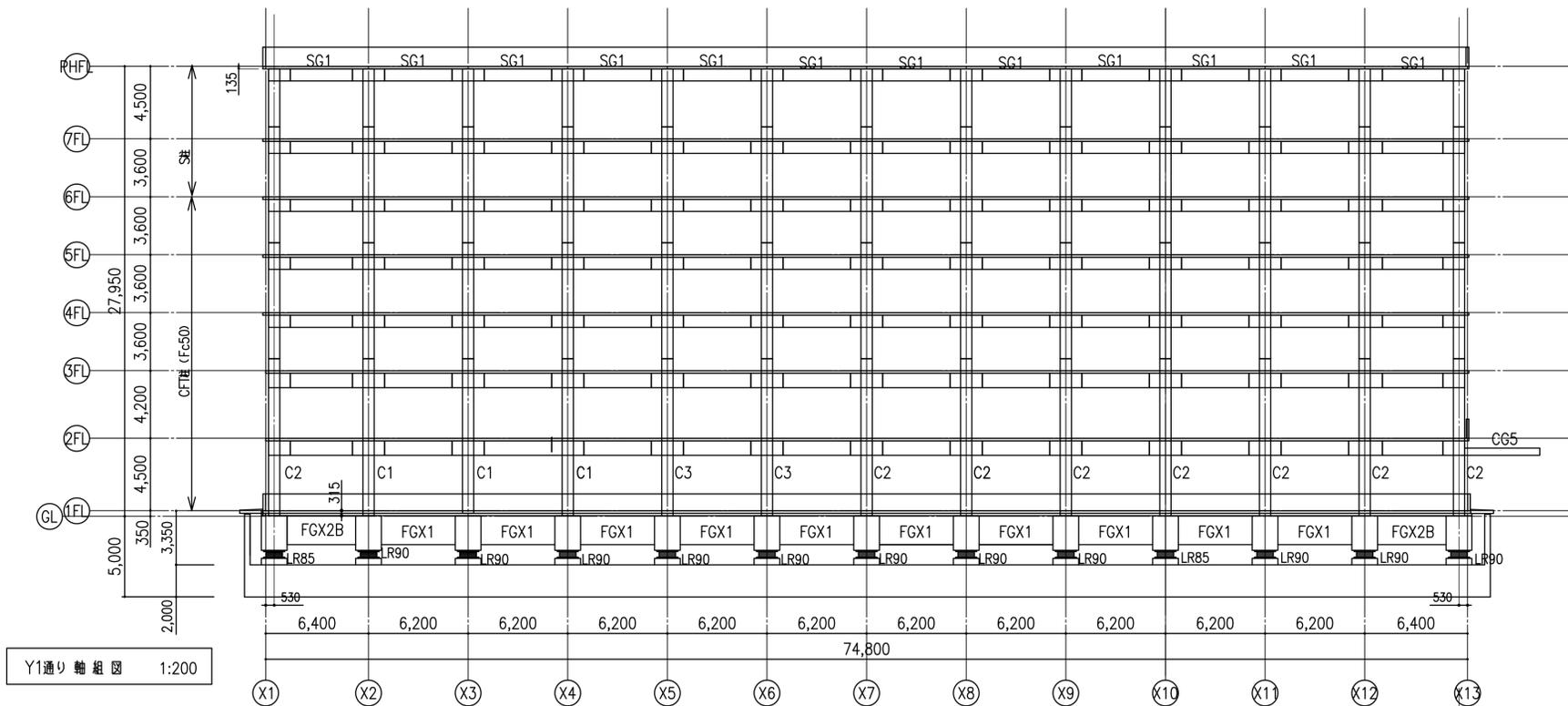
<p>伏図注記 特記の無い限り下記とする。</p> <p>1. スラブの下がりは FL-15 とする。</p> <p>2. 大梁の下がりは FL-165 とする。</p> <p>3. () 内は、梁の FL からの下がりを示し、その他下記に従う。</p> <p>4. 小梁の下がりは、取付くスラブ下層合わせとする。</p>		<p>5. スラブ符号は S1 とする。</p> <p>6. □ は、スラブの FL からのレベルを示す。</p> <p>7. ▨ は、スラブの FL からのレベル範囲を示す。</p> <p>8. ▩ は、スラブ打ち増し層を示す。</p>		<p>設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一</p> <p>設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏</p> <p>設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第228503号 構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実</p> <p>設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之</p>	<p>工事名 山梨大学 (医病) 病棟II新営その他工事</p> <p>山梨大学施設・環境部</p> <p>部長 課長 補佐 担当</p>	<p>設計者氏名 株式会社教育施設研究所</p> <p>ARCHITECT & OFFICE BRANCH, APPR. BY: CHK, BY: DRAWN BY: DRAWING TITLE: 4階伏図</p> <p>東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号</p>	<p>設計者氏名 山梨大学 (医病) 附属病院病棟II新営その他実施設計業務</p> <p>DATE '18. 4 .</p> <p>SCALE A1: 1:150 A2: - A3: 1:300</p> <p>DRAWING NO. S - 18</p>
--	--	---	--	---	---	--	--



PHR階伏図 (B,D仕様) (X6-8,Y3-4)
※B、D仕様の場合。

PHR階伏図 1:150

伏図注記 特記の無い限り下記とする。 1. スラブの下がりは水勾配あわせとする。 2. 大梁の下がりは FL-165 とする。 3. ()内は、梁のFLからの下がりを示し、その他下記に従う。 4. 梁の下がりは、取付くスラブ下継ぎ合わせとする。	5. スラブ符号は S1 とする。 6. □ は、スラブの FL からのレベルを示す。 7. ▨ は、スラブの FL からのレベル範囲を示す。 8. ▨▨ は、スラブ打ち増し層を示す。	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一 設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏 設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第228503号 構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実 設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之	工事名 山梨大学 (医病) 病棟II新営その他工事 山梨大学施設・環境部	設計者氏名 株式会社教育施設研究所 ARCHITECT & OFFICE BRANCH, APPR. BY CHKD. BY 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	設計者氏名 山梨大学 (医病) 附属病院病棟II新営その他実施設計業務 DRAWING TITLE PHR階伏図 SCALE A1: 1:150 A2: - A3: 1:300	DATE '18. 4 . DRAWING NO. S - 25
		部長 課長 補佐 担当	DRAWN BY	DATE		
		山梨大学 (医病) 病棟II新営その他工事	ARCHITECT & OFFICE BRANCH, APPR. BY CHKD. BY	DATE		
		山梨大学施設・環境部	DRAWING TITLE	DATE		



軸組図注記 特記の無い限り下記とする。

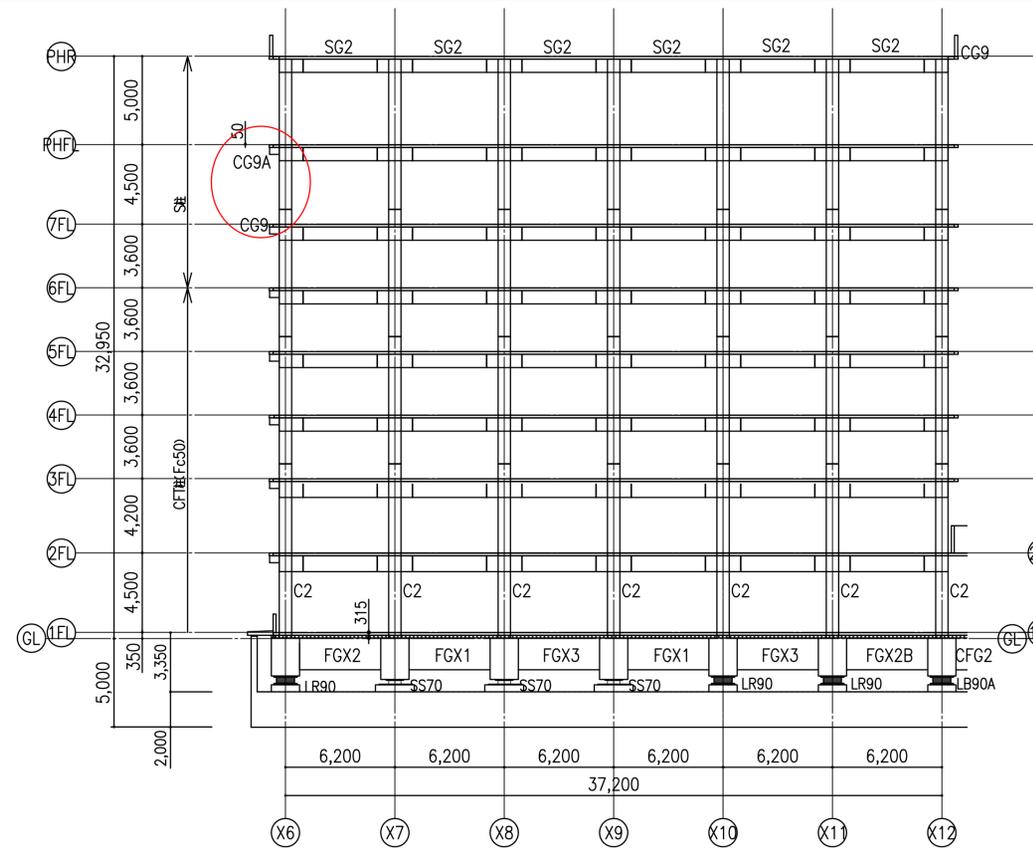
1. 梁符号は、上階と同符号とする。
2. スラブの下がりは、nFL-15 とする。
3. 鉄骨梁の下がりは、nFL-165 とする。
4. は、梁・柱の打増しを示す。
5. J、> は、梁・柱の継手位置を示す。
6. 大梁の継ぎ手位置は、柱心から1,000とする。
7. BPL下端位置は1FL-265とする。

設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一
設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏
設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第228503号
構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実
設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第315246号
構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之

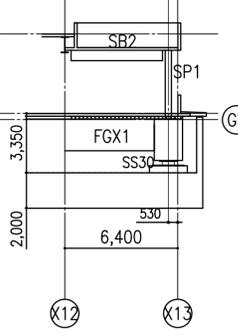
工事名
山梨大学（医病）病棟Ⅱ新営その他工事
山梨大学施設・環境部
部長 課長 補佐 担当

株式会社教育施設研究所
ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY CHKD. BY
DRAWN BY DRAWING TITLE
軸組図 No.1
SCALE
A1: 1:200
A2: -
A3: 1:400

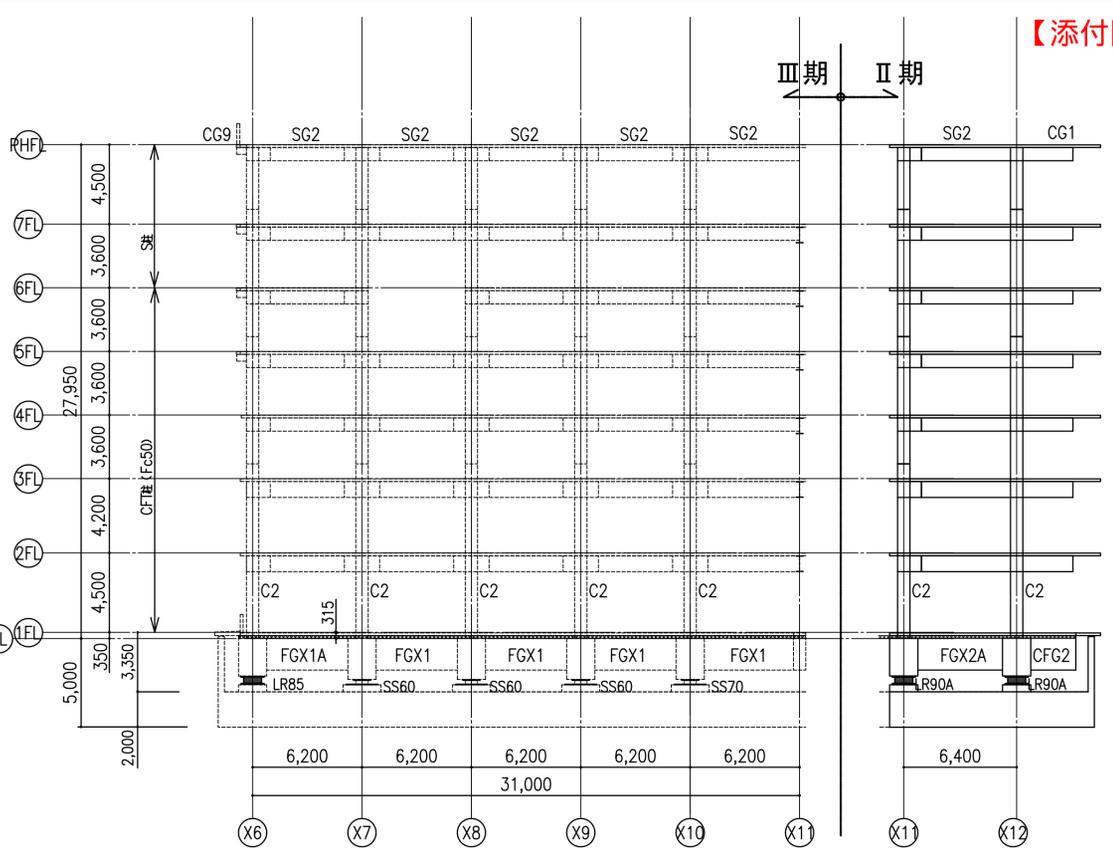
設計者氏名
山梨大学（医病）附属病院病棟Ⅱ新営その他実施設計業務
DATE
'18.4.
DRAWING NO.
S - 26



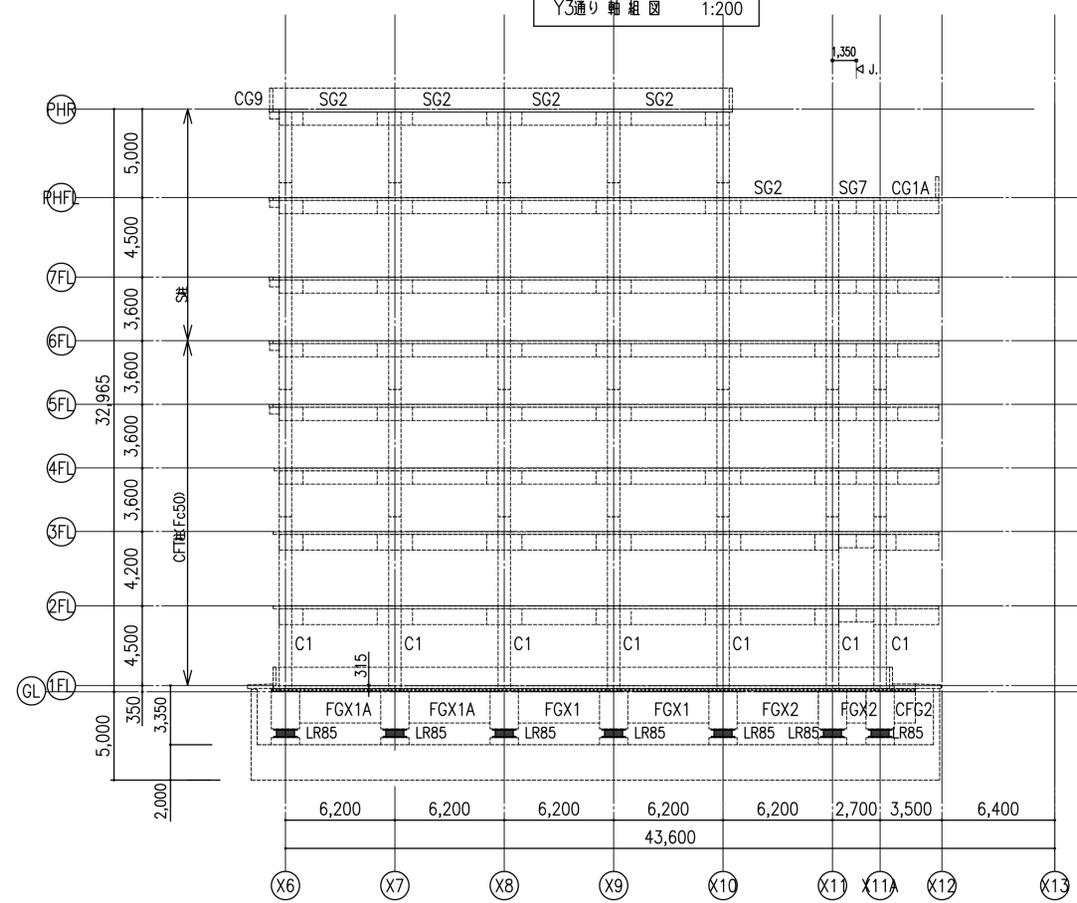
Y3通り軸組図 1:200



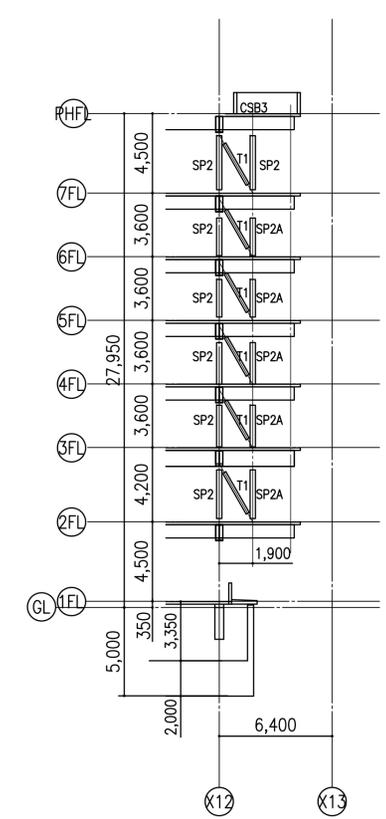
Y2B通り軸組図 1:200



Y4通り軸組図 1:200



Y5通り軸組図 1:200 (Ⅲ期工事範囲)



Y3B通り軸組図 1:200

軸組図注記 特記の無い限り下記とする。

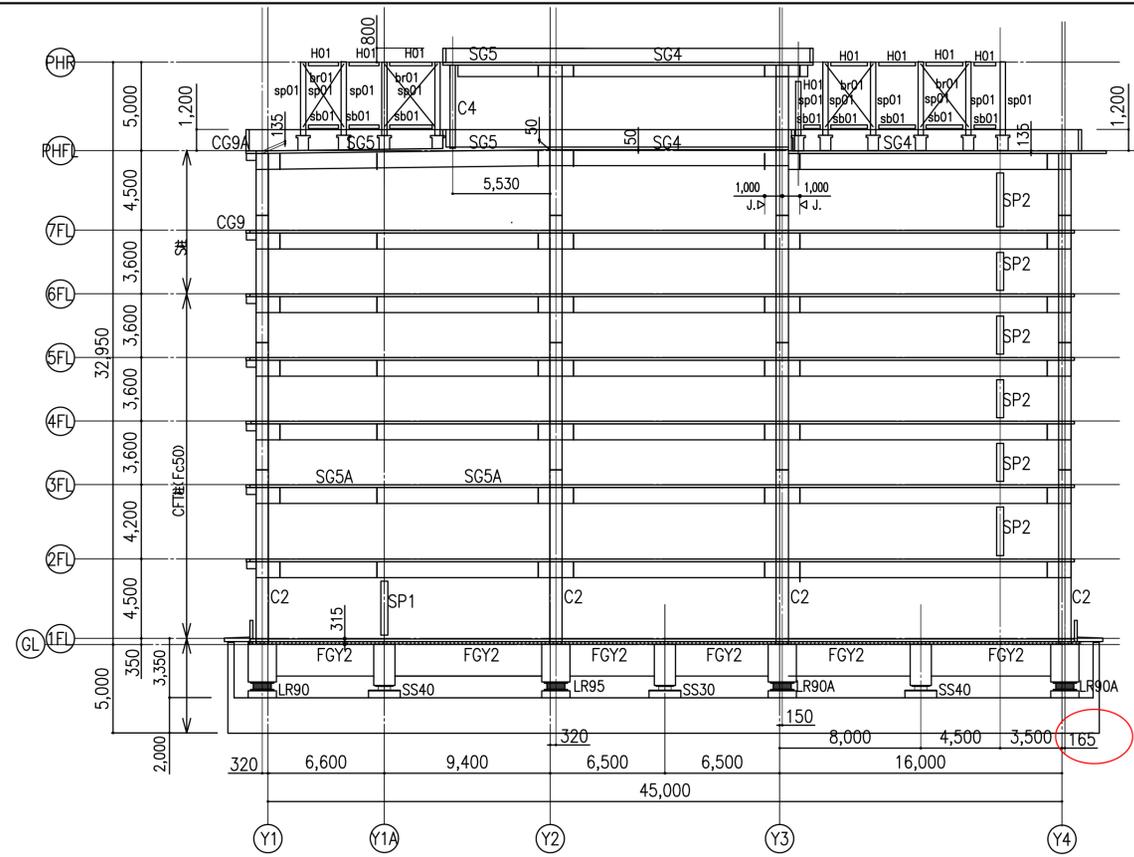
1. 梁符号は、上階と同符号とする。
2. スラブの下がりは、nFL-15 とする。
3. 鉄骨梁の下がりは、nFL-165 とする。
4. [Hatched Box] は、梁・柱の打増しを示す。
5. J、> は、梁・柱の継手位置を示す。
6. 大梁の継ぎ手位置は、柱心から1,000とする。
7. BPL下端位置は1FL-265とする。

設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一
設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏
設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第228503号 構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実
設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之

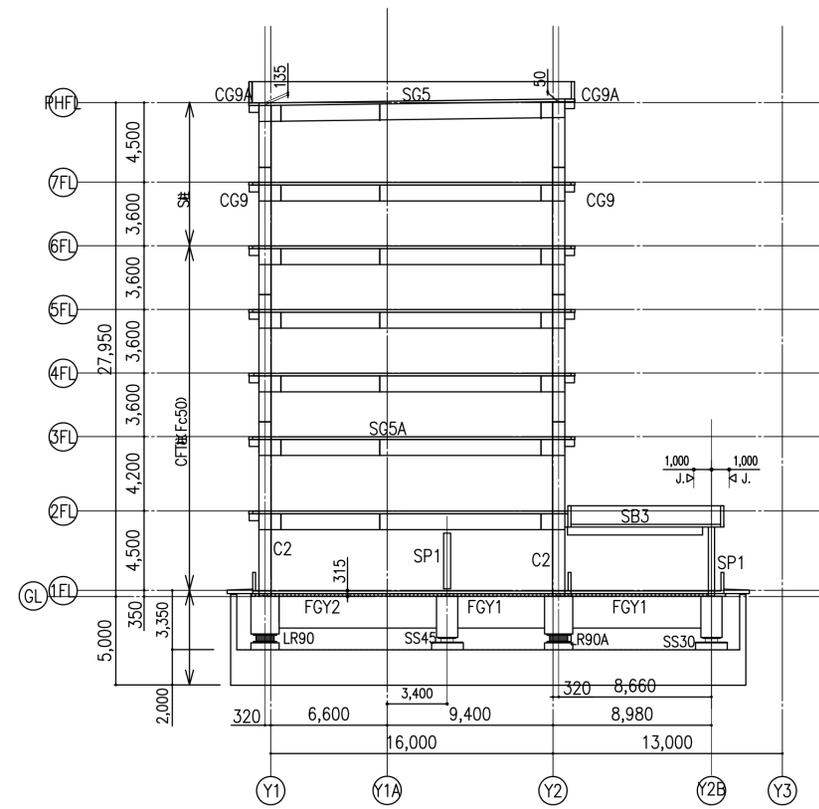
工事名	山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事
山梨大学施設・環境部	
部長	
課長	
補佐	
担当	

ARCHITECT & OFFICE BRANCH	APPR. BY	CHKD. BY	DRAWN BY	DRAWING TITLE
株式会社 教育施設研究所				軸組図 No.2
東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号				

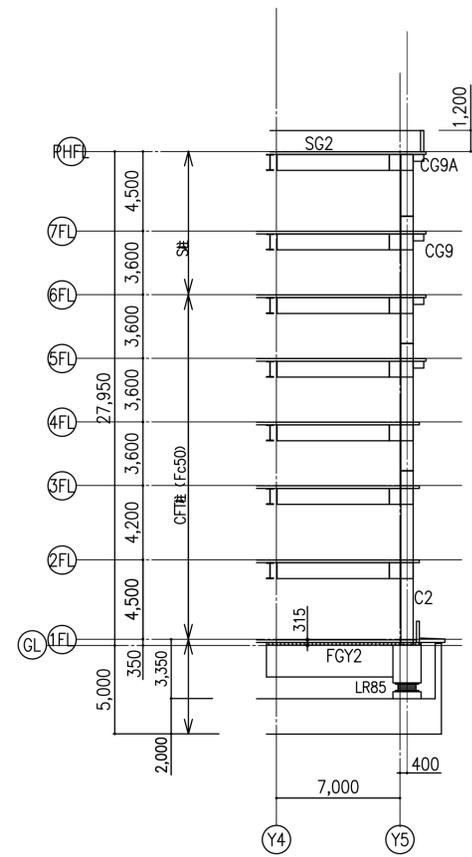
設計者氏名	山梨大学(医病)附属病院病棟Ⅱ新営その他実施設計業務	DATE	'18.4.
SCALE	A1: 1:200 A2: - A3: 1:400	DRAWING NO.	S - 27



X12通り 軸組図 1:200



X13通り 軸組図 1:200



X11A通り 軸組図 1:200 (Ⅲ期工事範囲)

軸組図注記 特記の無い限り下記とする。

1. 梁符号は、上階と同符号とする。
2. スラブの下がりは、nFL-15 とする。
3. 鉄骨梁の下がりは、nFL-165 とする。
4. は、梁・柱の打増しを示す。
5. J.▷ は、梁・柱の継手位置を示す。

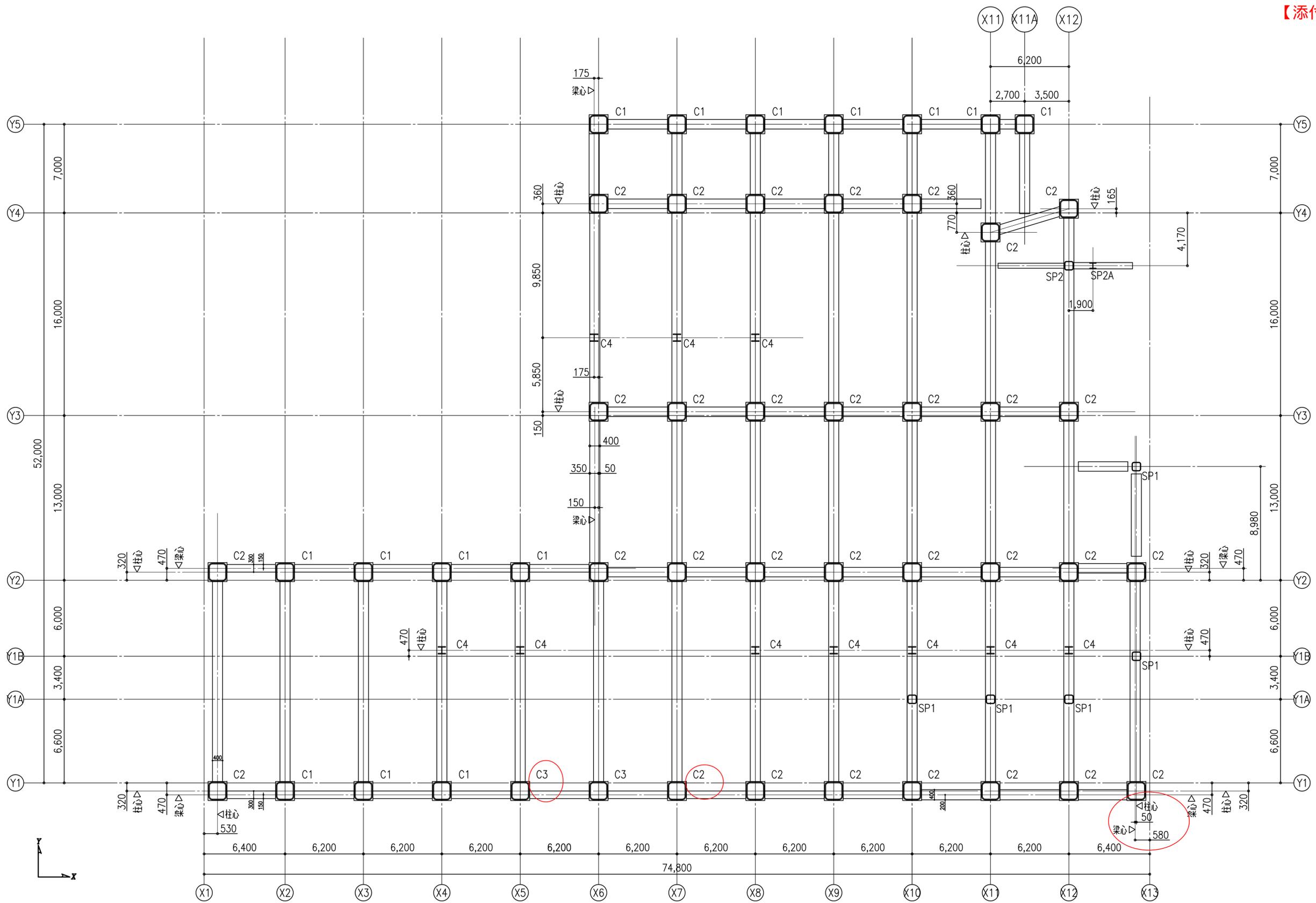
設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一
設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏
設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第228503号 構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実
設計者氏名	一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之

工事名	山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事
山梨大学施設・環境部	
部長	
課長	
補佐	
担当	

株式会社教育施設研究所

ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY:
 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号
 株式会社教育施設研究所
 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号

設計者氏名	山梨大学(医病)附属病院病棟Ⅱ新営その他実施設計業務	DATE	'18.4.
DRAWING TITLE	軸組図 No.5	SCALE	A1: 1:200 A2: - A3: 1:400
DRAWING NO.	S - 30		



鉄骨心伏図 1:150/75

設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一 設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏 設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第228503号 構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実 設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之		工事名 山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事 山梨大学施設・環境部		監理者氏名 株式会社教育施設研究所 ARCHITECT & OFFICE BRANCH APPR. BY 'CHKD. BY 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号		監理者氏名 山梨大学(医病)附属病院病棟Ⅱ新営その他実施設計業務 DATE '18. 4 . SCALE A1: 1:150/75 A2: - A3: 1:300/150 DRAWING NO. S - 31 鉄骨心伏図	
		部長 課長 補佐 担当					

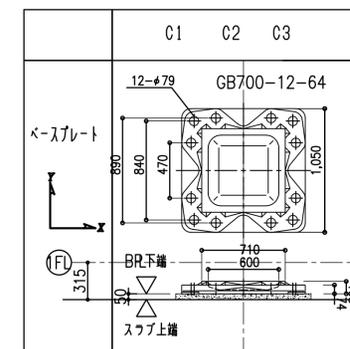
柱断面リスト 1:30

階	C1	C2	C3
PH (S柱)			
	BX-700x22 BCP325	BX-700x22 BCP325	BX-700x22 BCP325
7 (S柱)			
	BX-700x25 BCP325	BX-700x28 BCP325	BX-700x28 BCP325
6 (S柱)			
	BX-700x25 BCP325	BX-700x28 BCP325	BX-700x28 BCP325
5 (CFT柱)			
	BX-700x25 BCP325	BX-700x28 BCP325	BX-700x28 BCP325
4 (CFT柱)			
	BX-700x25 BCP325	BX-700x28 BCP325	BX-700x28 BCP325
3 (CFT柱)			
	BX-700x25 BCP325	BX-700x28 BCP325	BX-700x28 BCP325
2 (CFT柱)			
	BX-700x25 BCP325	BX-700x32 BCP325	BX-700x32 BCP325
1 (CFT柱)			
	BX-700x25 BCP325	BX-700x32 BCP325	BX-700x32 BCP325

階	C4
PH (S柱)	
	H-350x350x12x19 SN400B
柱脚	ウェアPL-9,2x3-M20 (S10T) 2面せん断

柱断面リスト 1:30

階	SP1
1	
	BX-350x22 BCR295
ベースプレート	
	4-M22 L=660(ABR490) BPL-28(SN490C)



設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一	工事名 山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏	山梨大学(医病)附属病院病棟Ⅱ新営その他実施設計業務	DATE '18.4.
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第228503号 構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実	山梨大学施設・環境部	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之	ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	DRAWING NO. S-43
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第8280号 茂木博之	部長 課長 補佐 担当	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第8280号 茂木博之	DRAWING TITLE 鉄骨柱断面リスト	SCALE A1: 1:30 A2: - A3: 1:60

大梁 部材リスト

特記の無い限り下記による。

1. 鉄骨部材はSN490Bとする。
2. デッキ床およびコンクリートスラブ受けの梁フランジ上端は、全て頭付きスタッドボルト打ちとする。



フランジ幅 B ≦ 200 の場合 19φ-300@ (S) h=100
 B = 250 の場合 19φ-300@ (W) h=100 g=150
 B ≧ 300 の場合 19φ-300@ (W) h=100 g=200

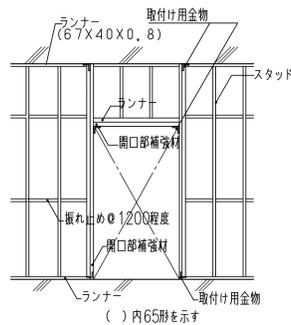
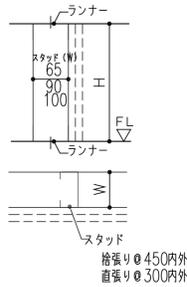
階	符号	SG1	SG1A	SG2	SG2A
		全断面	全断面	全断面	全断面
	PHR	H-650x300x12x25	H-650x300x12x25	H-650x300x12x25	-
	PHF	H-750x300x16x25	BH-750x400x19x36	H-750x250x14x28	-
	7F	H-750x300x16x25	BH-750x400x19x36	H-750x250x14x28	-
	6F	H-750x300x16x25	BH-750x400x19x36	H-750x300x16x25	-
	5F	H-750x300x16x28	BH-750x400x19x36	H-750x300x16x25	-
	4F	H-750x300x16x28	BH-750x400x19x36	H-750x300x16x25	-
	3F	H-900x300x16x28	H-900x400x19x32	H-900x300x16x25	H-900x350x16x28
	2F	H-900x300x16x28	H-900x400x19x32	H-900x300x16x25	H-900x350x16x28

階	符号	SG3	SG4	SG5	SG5A	SG6	SG7	SG8
		全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	PHR	BH-650x350x16x32	BH-650x350x12x25	BH-650x350x16x32	-	-	-	H-650x250x12x25
	PHF	H-900x400x16x32	H-900x400x19x40	H-900x400x19x40	-	BH-1100x400x19x40	H-750x250x14x25	H-750x250x14x28
	7F	H-900x400x16x25	H-900x400x19x36	H-900x400x16x32	-	-	H-750x250x14x25	H-750x250x14x28
	6F	H-900x400x16x25	H-900x400x19x36	H-900x400x16x32	-	-	H-750x250x14x25	H-750x300x16x25
	5F	H-900x400x16x25	H-900x400x19x36	H-900x400x16x32	-	-	H-750x250x14x25	H-750x300x16x25
	4F	H-900x400x16x25	H-900x400x19x36	H-900x400x19x36	-	-	H-750x250x14x25	H-750x300x16x25
	3F	H-900x400x16x28	H-900x400x19x36	H-900x400x19x36	H-900x400x19x40	-	H-750x250x14x25	BH-750x400x19x32
	2F	H-900x400x16x28	H-900x400x19x36	H-900x400x19x36	H-900x400x19x40	-	H-750x250x14x25	BH-750x400x19x32

設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田順一	工事名 山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事	株式会社教育施設研究所 ARCHITECT & OFFICE BRANCH APPR. BY CHKD. BY DRAWN BY DRAWING TITLE 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	設計者氏名 山梨大学(医病)附属病院病棟Ⅱ新営その他実施設計業務	DATE '18. 4 .	
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤雅敏	山梨大学施設・環境部		設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第228503号 構造設計一級建築士登録 第1332号 岡本卓実	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木博之	SCALE A1 : A2 : - A3 :

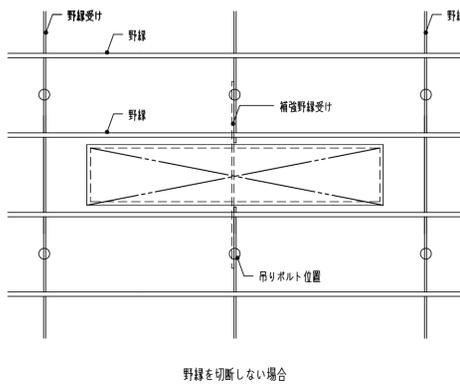
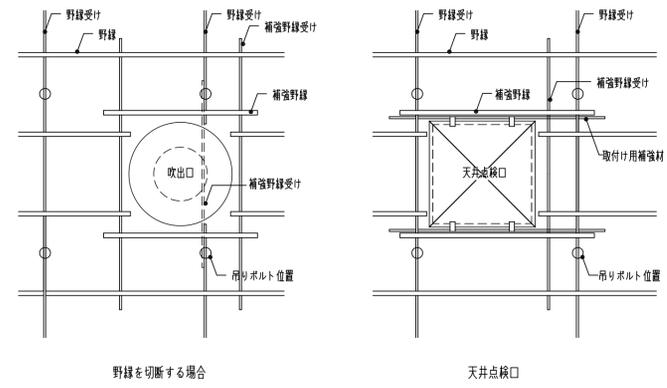
1 壁 軽量鉄骨間仕切下地開口補強

部位	スタッド	ランナー	取止め	出入口及びこれに準じる開口部の補強材	補強材取付用金物	スタッドの高さによる適用	本工事での適用
種類	65形	65x45x0.8	67x40x0.8	C-60x30x10x2.3	L-30x30x3	高さ3.7mを超え4.5m以下	片面用
	90形	90x45x0.8	92x40x0.8	C-75x45x15x2.3	L-50x50x4	高さ4.5mを超え5m以下	片面用
	100形	100x45x0.8	102x40x0.8	2C-75x45x15x2.3		高さ4.5mを超え5m以下	一般間仕切用



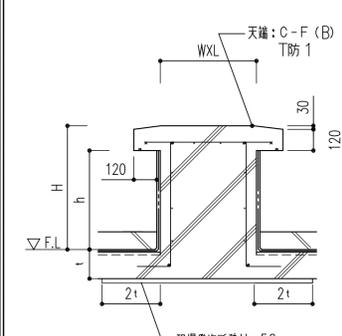
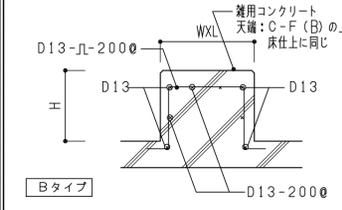
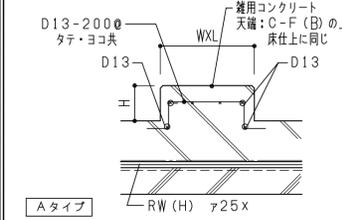
W X L	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	PH階	備考	合計
(屋内消火栓)										
1050x1400	3	3	3	3	3	3	3	1		22
(消火器ボックス)										
300x700	6	6	6	7	6	6	6			43
300x700	1	1	1	1	1	1	1		既存病棟1階	7
(放水口)										
400x500			2	2	2	2	2	1		11
300x700			1	1	1	1	1		既存病棟1階	5
(電気)										
(ケーブルラック)										
400x300	6	8	8	8	8	8	8			54
600x300	4	4	4	4	4	4	4			28
(機械)										
(機械壁掛樋口)										
650x350	1									1
1300x350		1	1	1	1	1	1			6
1500x400	1									1
700x300		1		1						2
300x200			1							1
450x250				1	1					2
600x300		2	1	1	1	2	1			8
800x300							1			1
1600x350	1									1
1000x350					1	1				2
(ダクト貫通)										
500x300	6		3							9
500x400	3	2								5
500x500							1			1
700x300	6	3								9
700x400	1			1			2			4
700x500				1	1	1	1			4
1000x300	3									3
1000x400	2	3	1	1			1	1		9
1000x500	1							2		3
1200x500	1									1
400φ		5	19	24	16	18	12			94
500φ			5	1	9	8	8			31

2 天井 軽量鉄骨天井下地開口補強



W X L	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	PH階	合計	W X L	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	PH階	合計
(天井点検口)																			
450x450 (標準タイプ)	121	175	180	202	207	203	154	3	1245	(機械)									
600x600 (標準タイプ)	28	45	28	28	27	27	31		214	760x525	6	18	21	9	18	18	22		112
1000x600 (標準タイプ)			8	6	3	9	11	3	40	920x525	4	4	5	5	7	7	6		38
450x450 (エアタイプ)					3			41	44	1050x600	4	3	5	5	3	7	2		29
600x600 (エアタイプ)								13	15	1450x850					2		3		5
600x600 (新取付点検口)									5	1250x525	6	8	5	5	8	6	8		52
										1510x525	6							2	8
										1860x525	1								1
									1393	1050x650	2			4					6
									386	1250x650				3					3
									239	(制気口)									
									192	400x400	18	6	14	16	4	7	4		69
										600x600	11	8	8	10	8	10	2		57
										800x800	3								3
										150x1000		16	26	12	18	20	20		112
										150x1500	1	1	1	1	1	1	2		8
										150x2000		3	1	1	1	1			7
										150x2500	1								1
										(機械排煙口)									
										350x350			1	2					3
										450x450	1		4	4	3	3	3		18
										500x500	1	3	1						5
										600x600			1	1	1	1	1		5

3 床 設備基礎

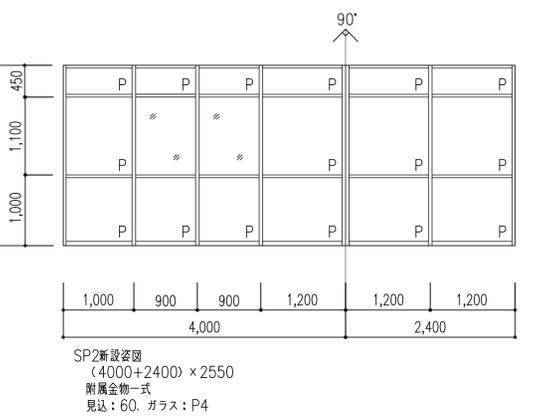
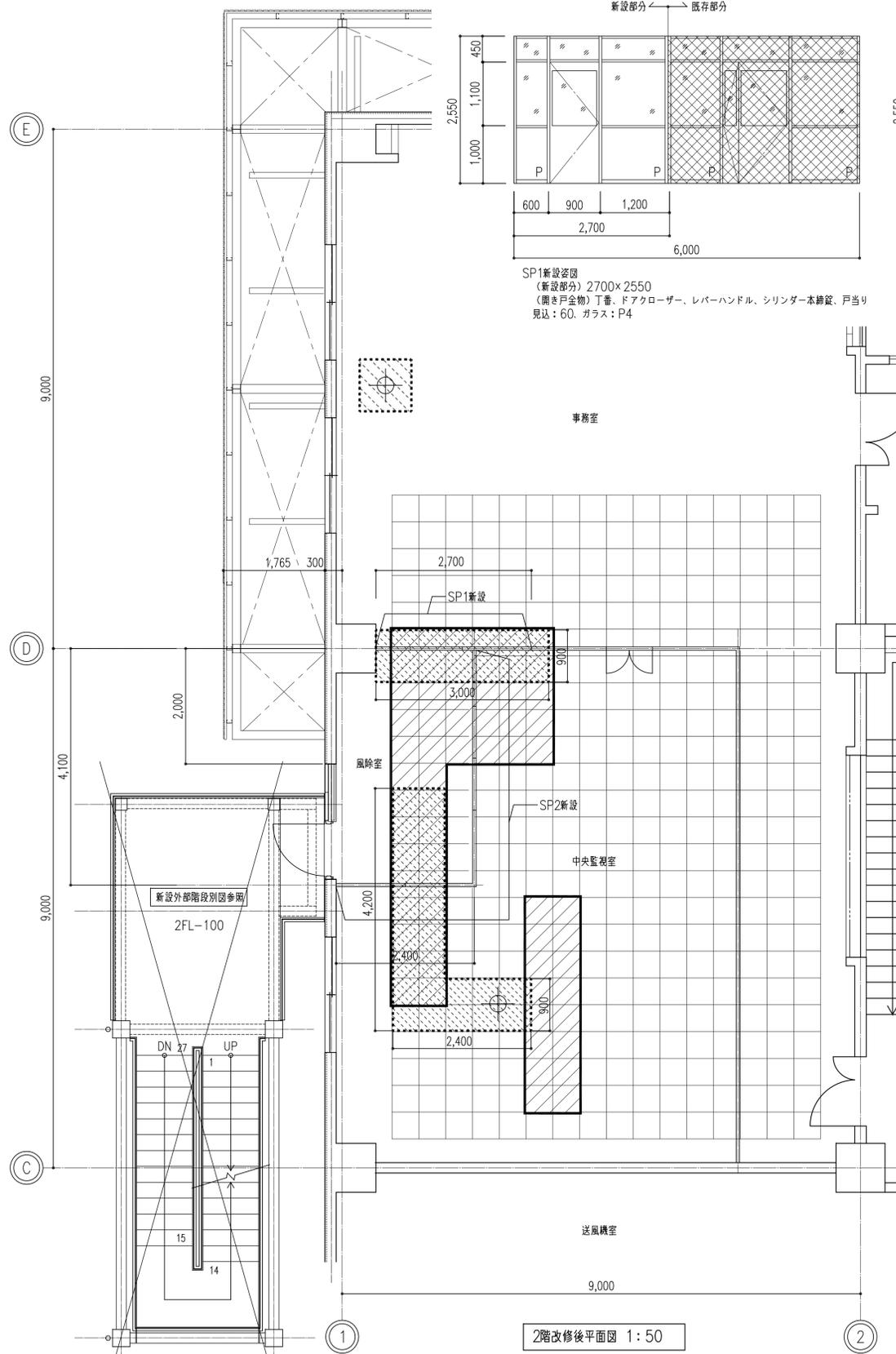
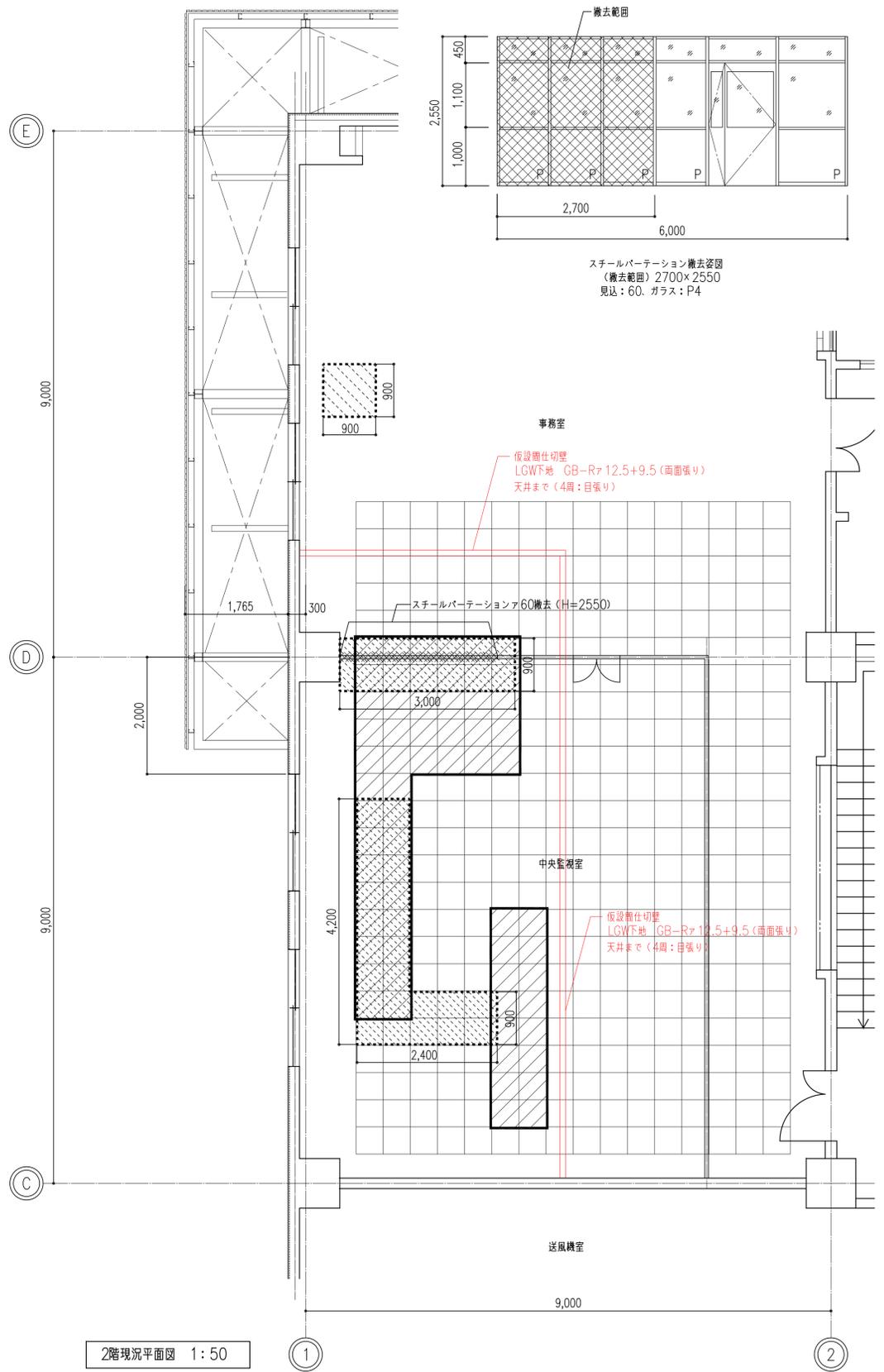


W X L X H	タイプ	免震ピット	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	PH階	備考	合計
1 450x2400x600	B	3										3
2 3200x4600x150	B	1										1
3 2100x2200x150	B	1										1
4 1900x750x150	B	1										1
5 1200x2200x250	B	1										1
6 500x500x150	B	2										2
7 500x1300x450H	B	4										4
8 1600x1500x250	B	1										1
9 2680x1610x150	A		2									2
10 870x1970x150	A		1									1
11 3400x1600x150	A		1									1
12 3300x2100x150	A		1									1
13 2030x860x150	A				1	1						2
14 2080x880x150	A			1			1	1	1			4
15 2080x960x150	A			1								1
16 2170x1070x150	A			1								1
17 2170x1100x150	A								1			1
18 2330x1130x150	A				1	1						2
19 2360x1200x150	A					1	1					2
20 400x400x250	A							18				18
21 800x650x150	A							1				1
22 1200x300x150	A							2				2
23 1500x650x150	A							1				1
24 1530x850x150	A							3				3
25 1700x950x150	A							5				5
26 2030x860x150	A							1				1
27 2100x1300x250	A							1				1
28 2400x1100x150	A							1				1
29 2800x1000x250	A							1				1
30 2850x1100x150	A							1				1
31 3200x1300x250	A							2				2

W X L X H	タイプ	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	PH階	備考	合計
500x500x820	c									103	103
1700x750x200	D	1								既存東病棟屋根部 病理解剖室ファン用	1
2750x900x200	D	1								既存東病棟屋根部 病理解剖室ファン用	1

W X L	免震ピット	1階	2階	3階	4階	5階	6階	7階	PH階	備考	合計				
■スラブ開口補強															
(電気)															
600x300		1	1	1	1	1	1	1			7				
1000x300		4	4	4	4	4	4	3			27				
(機械)															
500x300			1								1				
500x400		1	1	4	7	3	3	3	2		24				
500x500		3	2	3	8	2	2	3	2		25				
700x500					3	2	5				10				
700x600											39				
1000x400			1	1	1	1	1	1			6				
1000x500									1	1	3				
650x650			1	1	2	2	1	1	2		10				
700x700										1	1				
750x750			1	1	2	2	2	1	1		10				
400φ										2	4	4	4	4	22

【添付図面10】



2階現況平面図 1:50

2階改修後平面図 1:50

- スチールパーテーション60撤去範囲を示す (H=2550)
- フリーアクセスフロア取り外し範囲を示す (アルミダイキャスト製H=250)
- 天井: GB-R γ 9.5+RD γ 12撤去範囲を示す (LGCは既存のまま)

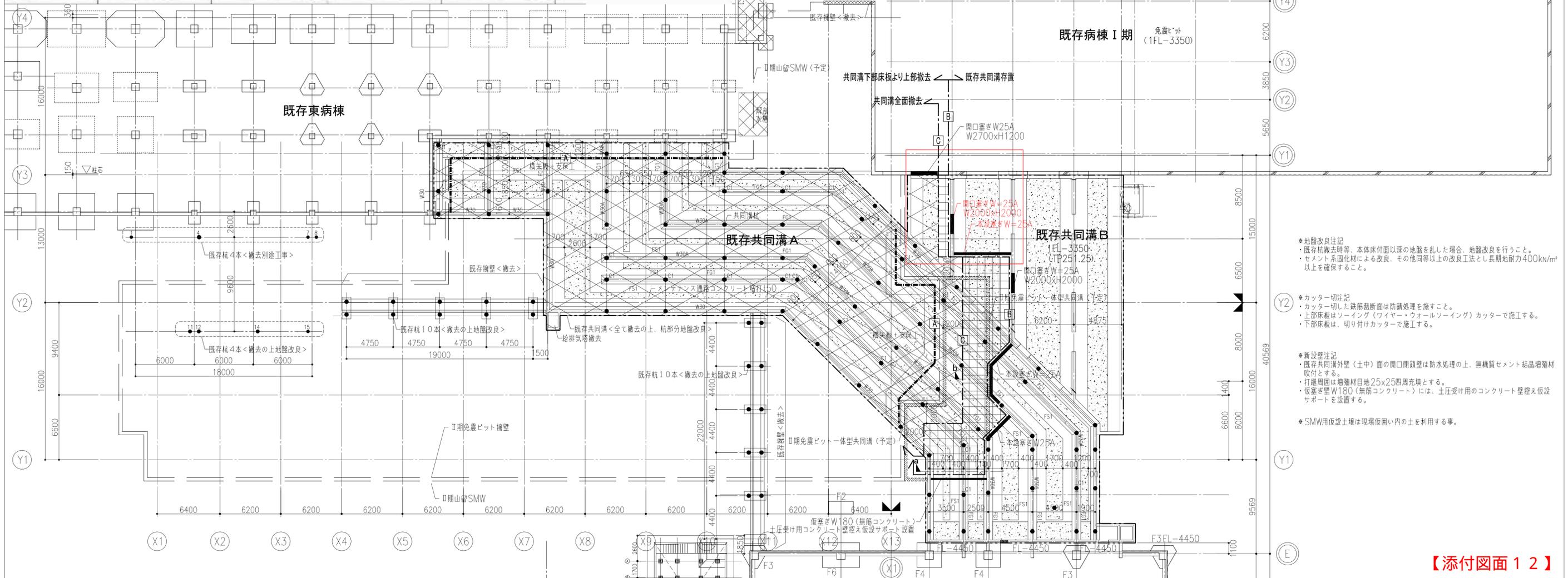
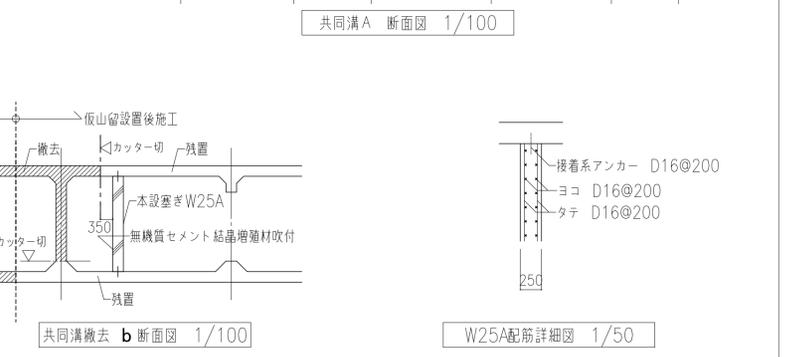
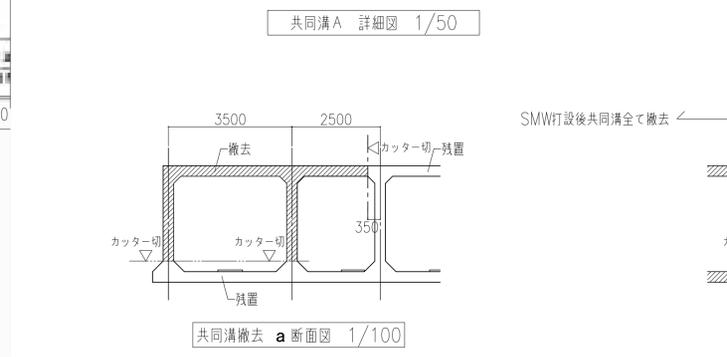
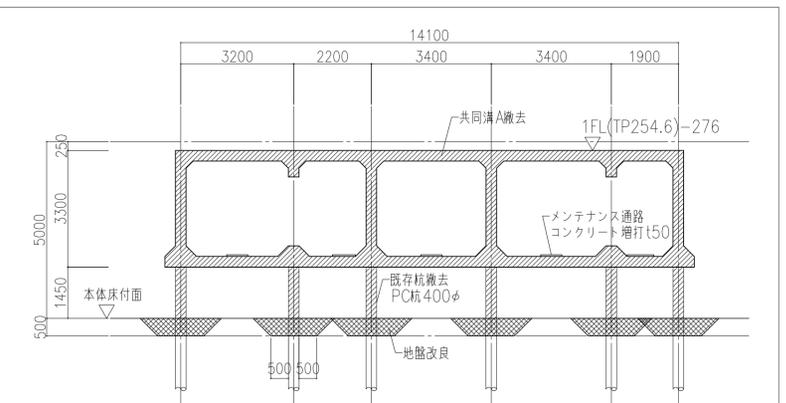
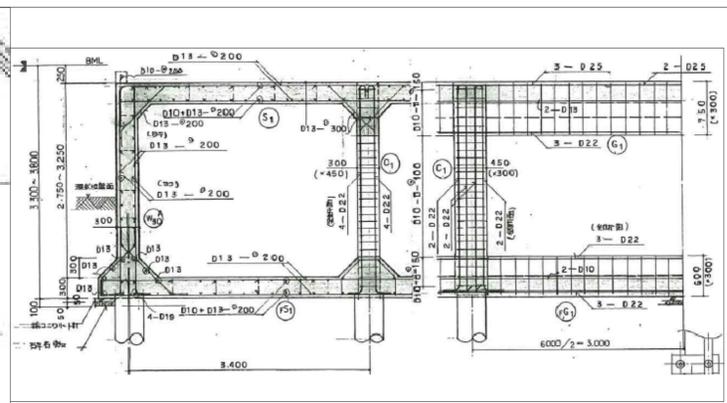
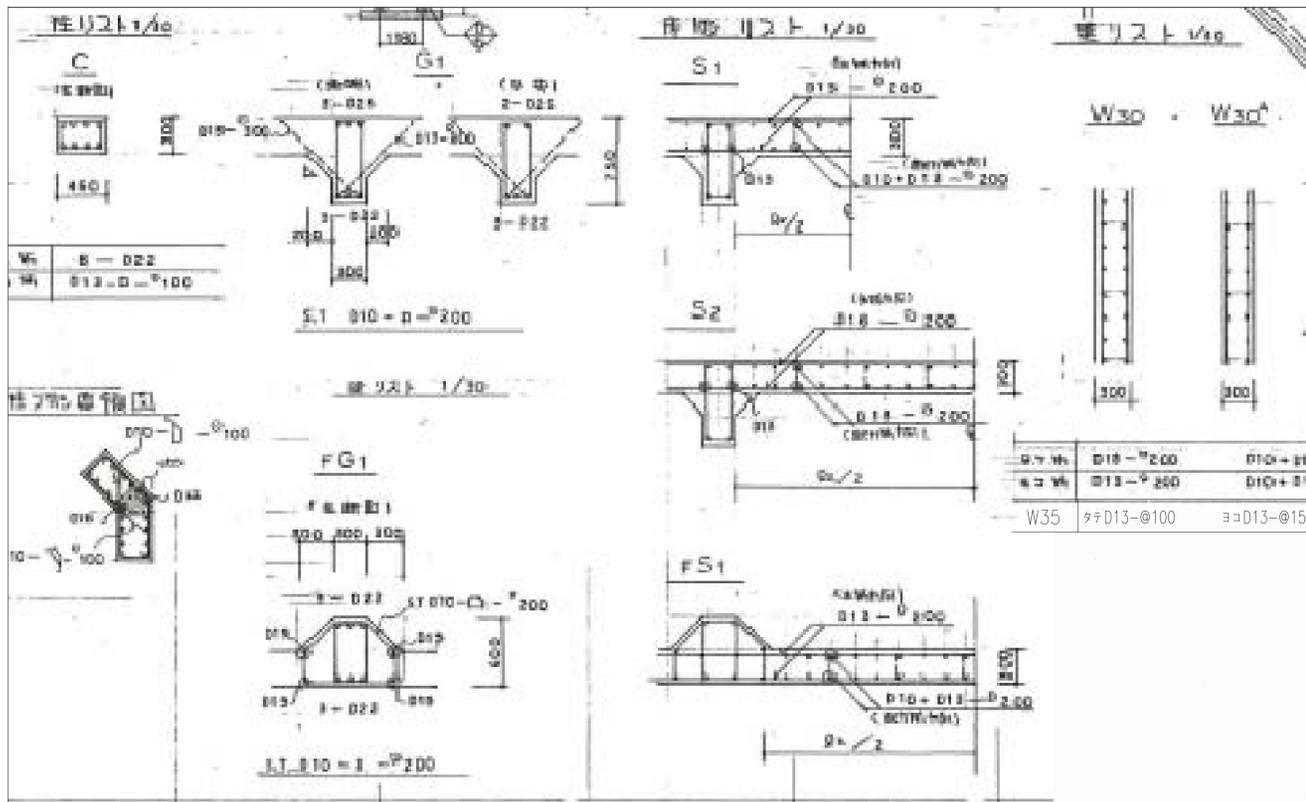
- 既存フリーアクセスフロア再取付範囲を示す (アルミダイキャスト製H=250)
- 天井: GB-R γ 9.5+RD γ 12新設範囲を示す (LGCは既存のままで)

モニター天井吊架台新設 (55インチ用) 2ヶ所
H=1300 (天井~RFスラブ下)

*新設外部階段については、DK-16図、DK-17図を参照のこと。

【添付図面 1 1】

■特記事項 ・新設西側鉄骨階段は別途工事とする。	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	工事名 山梨大学(医病)病棟Ⅱ新営その他工事	設計事務所 株式会社 教育施設研究所	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	山梨大学(医病)附属病院病棟Ⅱ新営その他実施設計業務	DATE '18・2
	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第299086号 齊藤 雅宏	山梨大学施設・環境部	ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	DRAWING TITLE 中央機械室2階改修図	SCALE A1: 1:50 A2: - A3: 1:100	DRAWING NO. DK-19A
	部長 課長 補佐 担当	部長 課長 補佐 担当	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第299086号 齊藤 雅宏	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一



- ※地盤改良注記**
 ・既存杭撤去時等、本体床付面に深地の地盤を乱した場合、地盤改良を行うこと。
 ・セメント系固着材による改良、その他同等以上の改良工法とし長期耐力400kn/m²以上を確保すること。
- ※カッター切注記**
 ・カッター切した鉄筋断面は防錆処理を施すこと。
 ・上部床版はソーイング(ワイヤーウォールソーイング)カッターで施工する。
 ・下部床版は、切り付けカッターで施工する。
- ※新設壁注記**
 ・既存共同溝外壁(土中)面の開口閉鎖壁は防水処理の上、無機質セメント結晶増殖材吹付とする。
 ・打囲周囲は増殖材目地25x25四角充填とする。
 ・仮塞ぎ壁W180(無筋コンクリート)には、土圧受け用のコンクリート壁控え仮設サポートを設置する。
- ※SMW用仮設土壌は現場仮囲い内の土を利用する事。**

【添付図面 1 2】

[凡 例] [---] : 既存共同溝範囲を示す [---] : 既存共同溝撤去範囲を示す [---] : 既存共同溝上部スラブ(地中梁より上部壁を含む)撤去範囲を示す [---] : 塞ぎ壁設置位置を示す [---] : 病棟II期免震ピット一体型共同溝(予定)	[---] : 病棟II期免震ピット [---] : 横矢板+支保工 (SMW仮設土の流入止め) [---] : 既存共同溝撤去時上部床版及び側壁カッター位置を示す。 [---] : 既存共同溝全面撤去~床版残し範囲を示す。	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	工事名 山梨大学(医病)病棟II新営その他工事	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	山梨大学施設・環境部	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第299086号 齊藤 雅宏	部長 課長 補佐 担当	株式会社 教育施設研究所 ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	設計者氏名 山梨大学(医病)附属病院病棟II新営その他実施設計業務	DATE '18. 2 .
		設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第299086号 齊藤 雅宏	共同溝解体図(1)	SCALE A1: 1:200 A2: - A3: 1:400	DRAWING NO. DK - 29			